

## 現状

### ●園芸の生産現場

#### ①重油ボイラー、燃料の状況

- ・重油ボイラー約12,000台
- ・重油使用量7万kl/年  
→木質ペレット換算で14万t必要

#### ②木質ボイラーの導入状況

- ・123台(園芸用104台、その他19台。22年度末実績見込み)
- ・現状は、ほとんどが重油ボイラーとの兼用だが、木質ペレット単独での使用もある。

H21～23

地域グリーンニューディール基金事業(環境省)  
森林整備加速化・林業再生事業 (林野庁)

### ●ペレットの生産現場

(参考:林業振興・環境部データ)

- ・供給実績 4,300t(6工場、H21年)  
約140台の木質ボイラーへ供給可能
- ・ペレット価格 37円/kg(須崎燃料製)
- ・供給体制  
林業振興・環境部で実証中

地域循環  
エネルギー  
の積極的  
利用で地  
域振興

## 今後の取り組み

### ●木質ボイラーの積極的導入

H23

- ①木質ボイラー推進に向け農業団体等と設置している木質バイオマスエネルギー利用促進協議会で検討(林業振興部と連携)

- 〔・配送体制  
・導入に向けた木質ボイラーの有効性周知  
・燃焼後の灰の処理法の確立等〕

- ②木質ボイラー導入によるモデル実証(13台+α)

- ・地域グリーンニューディール基金事業(環境省)
- ・森林整備加速化・林業再生事業(林野庁)
- ・農畜産機械等リース支援事業(農林水産省)

H24～

木質ボイラーへの切り替え推進

(試算) 毎年300～400台導入の可能性あり

- 〔ボイラーの実使用年数 約10年  
12,000台÷10=1,200台/年  
ハウスの立地などから1/3～1/4で導入  
→300～400台/年〕

※上記を推進するには、毎年9,000～12,000t程度の供給施設を計画的に整備することが必要

- 課題**
- ①早急な安定供給体制の確立
  - ②木質ボイラーの低コスト化
  - ③さらなる木質ペレットの低コスト化

### ●新エネルギーに関する研究

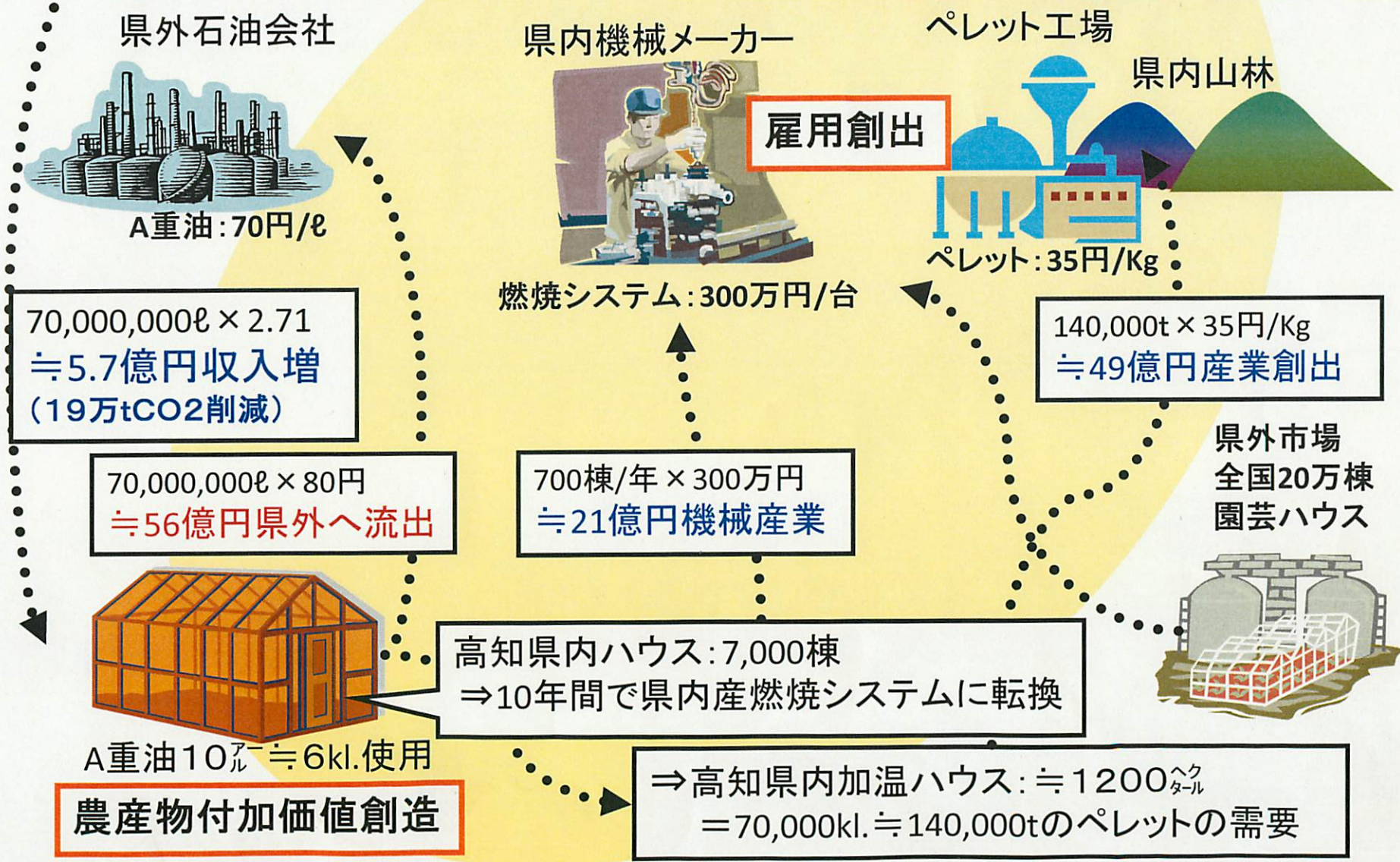
化石エネルギーに代わる太陽熱など、新エネルギーの利用方法の研究(H23年度～)



# 木質エネルギーを活用した高知県下での産業創出

CO<sup>2</sup>排出削減取引: 3,000円/t(仮定)

県内新価値創造75.7億円 + α / 年



県外石油会社

県内機械メーカー

ペレット工場

県内山林

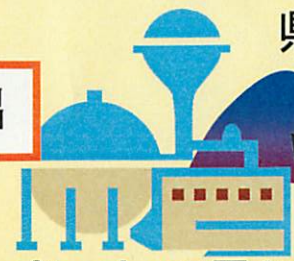
雇用創出



A重油: 70円/ℓ



燃焼システム: 300万円/台



ペレット: 35円/Kg



70,000,000ℓ × 2.71  
≒ 5.7億円収入増  
(19万tCO<sub>2</sub>削減)

140,000t × 35円/Kg  
≒ 49億円産業創出

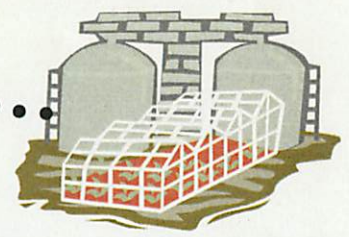
70,000,000ℓ × 80円  
≒ 56億円県外へ流出

700棟/年 × 300万円  
≒ 21億円機械産業

県外市場  
全国20万棟  
園芸ハウス



高知県内ハウス: 7,000棟  
⇒ 10年間で県内産燃焼システムに転換



A重油10<sup>アル</sup> ≒ 6kl.使用  
農産物付加価値創造

⇒ 高知県内加温ハウス: ≒ 1200<sup>ヘク</sup>  
= 70,000kl. ≒ 140,000tのペレットの需要